

TOTO

湯ぽっと耐震用脚 (RHE706、RHE707、RHE708)

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意

安全のために必ずお守りください

取付工事の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
この施工説明書では、商品を正しく取り付けいただき、使用者への危害や財産への損害
および工事者への危険を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示は、
次のようになっています。
内容をよく理解して正しく取り付けてください。

表 示	意 味
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示については次の意味があります。

絵表示	意 味	絵表示	意 味
	一般的な禁止		必ず実行

警告



必ず実行

耐震用脚を取り付けた電気温水器本体は、十分な強度が確保された床材に指定した固定方法で設置する
強度が不十分な床および指定外の固定方法で固定すると耐震性能を満足できないおそれがあります。

注意



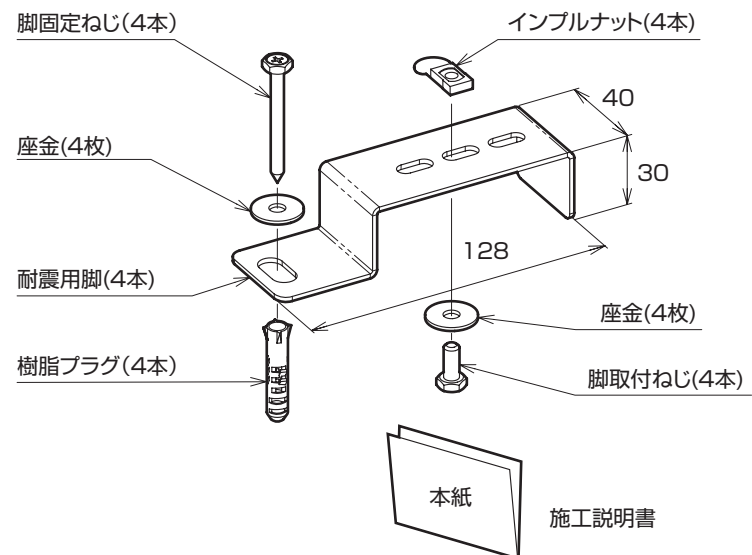
禁 止

耐震用脚を取り付けるときは、電気温水器本体に強い力や衝撃を与えない
故障や水漏れの原因になります。

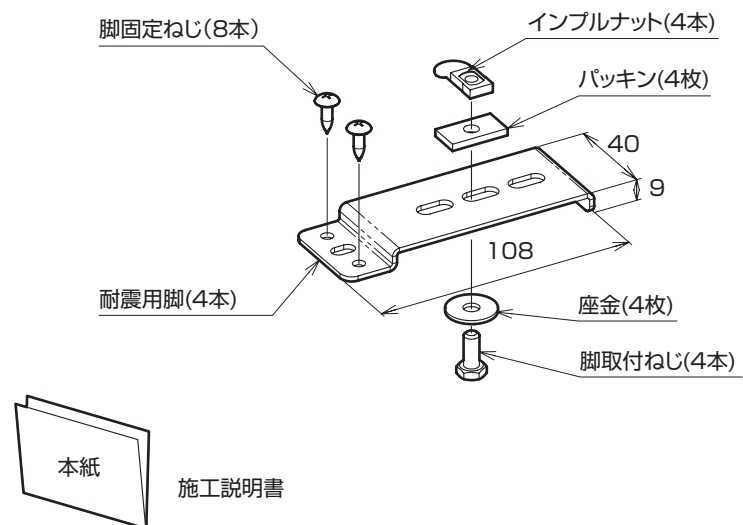
2 部品の確認

まず、次の部品があることを確認してください。

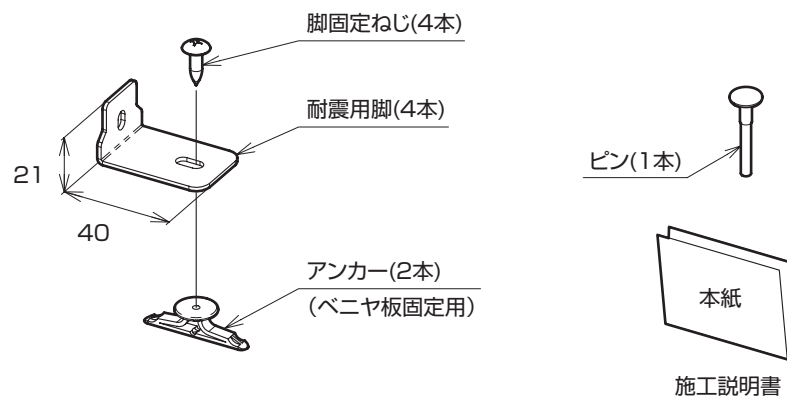
RHE706 (床用)



RHE707 (キッチン用)



RHE708 (洗面化粧台用)



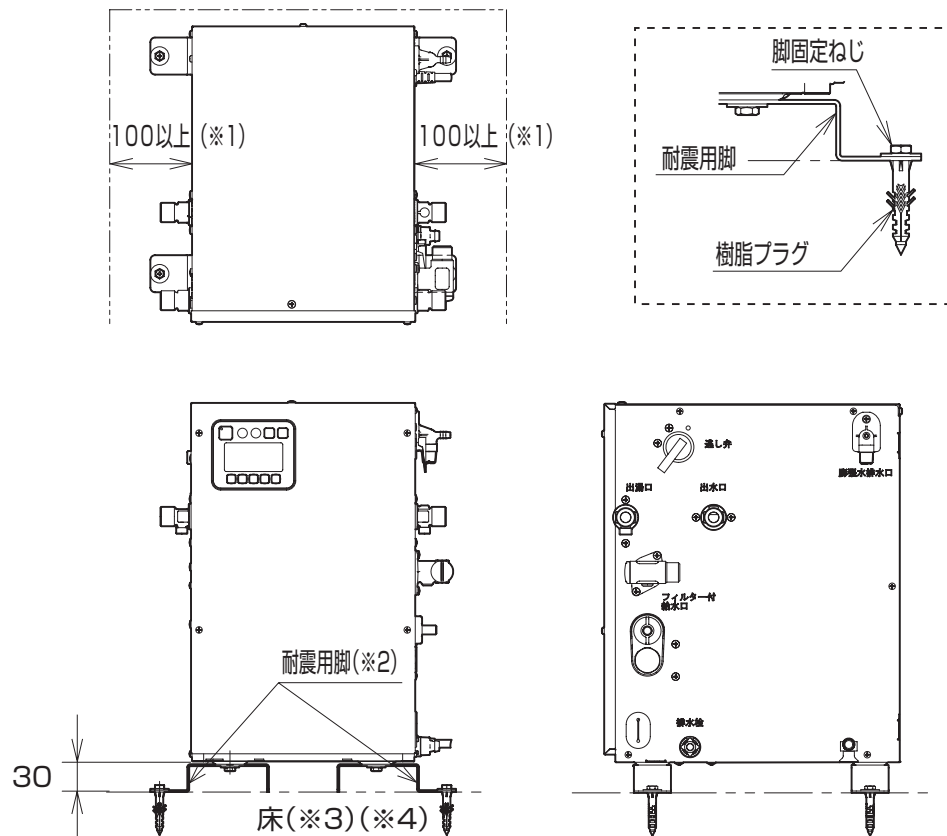
3 施工例

⚠ 警告



耐震用脚を取り付けた電気温水器本体は、十分な強度が確保された床材に指定した固定方法で設置する。強度が不十分な床および指定外の固定方法で固定すると耐震性能を満足できないおそれがあります。

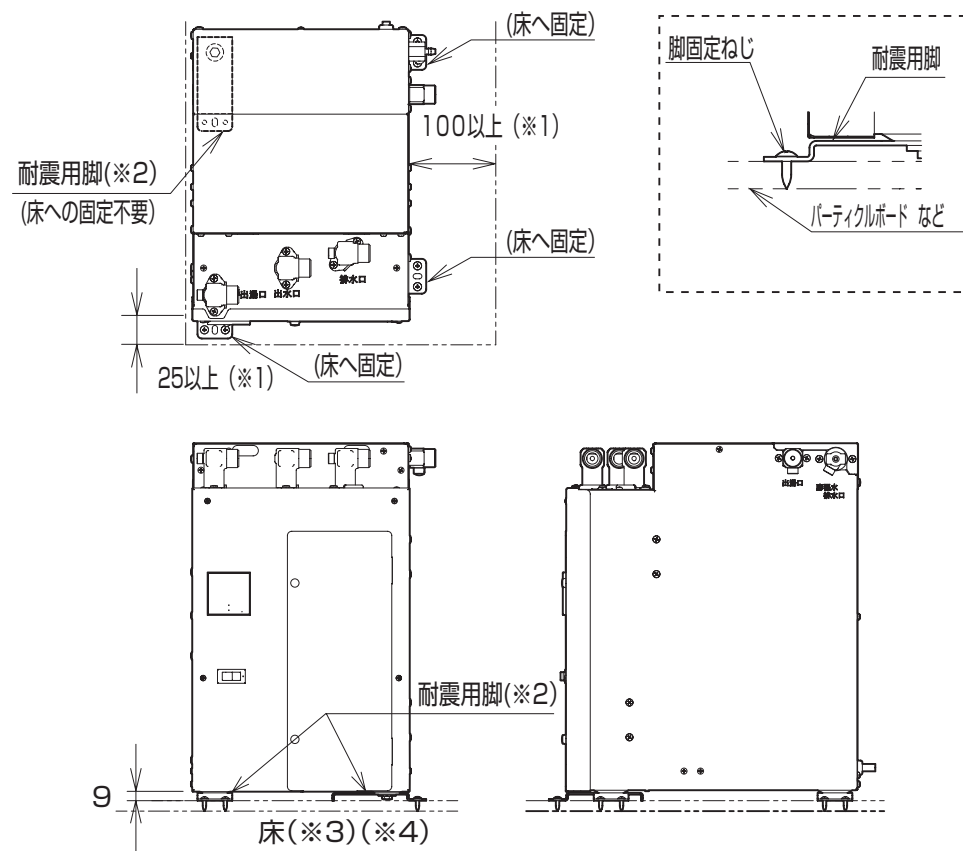
【RHE706施工例】（REW12*B型への耐震用脚取付例）



＜RHE706を固定するときの注意点＞

- ※ 1. 耐震用脚の取り付けに必要なスペースを確保してください。
- ※ 2. 電気温水器本体底面に耐震用脚を取り付け、**床に固定（4カ所）**してください。
電気温水器本体への耐震用脚の取付方法は、「4.施工手順」をご覧ください。
- ※ 3. 耐震用脚は、**コンクリートの床**に固定してください。
- ※ 4. 床材（建築躯体側）が木材の場合は、必ず厚さが15mm以上の合板に固定してください。
固定には呼び径4.1mm以上・長さ16mm以上の木ねじと座金を現場手配して施工してください。

【RHE707施工例】（REK12型への耐震用脚取付例）



＜RHE707を固定するときの注意点＞

- ※ 1. 耐震用脚の取り付けに必要なスペースを確保してください。
- ※ 2. 電気温水器本体底面に耐震用脚を取り付け、**床に固定（3カ所以上）**してください。
電気温水器本体への耐震用脚の取付方法は、「4.施工手順」をご覧ください。
- ※ 3. 耐震用脚の固定は、**必ず厚さが15mm以上のパーティクルボード、または合板**に固定してください。（不足する場合は、補強を行ってください。）
固定方法は「4.施工手順」をご覧ください。
- ※ 4. 清掃などで水洗いをする床面には取り付けできません。

3 施工例（つづき）

⚠ 警告



耐震用脚を取り付けた電気温水器本体は、十分な強度が確保された床材に指定した固定方法で設置する。強度が不十分な床および指定外の固定方法で固定すると耐震性能を満足できないおそれがあります。

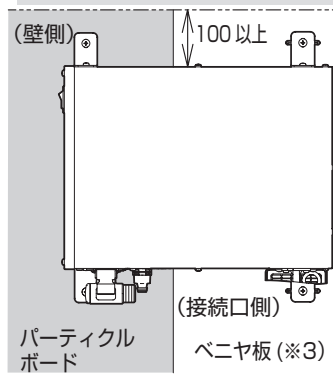
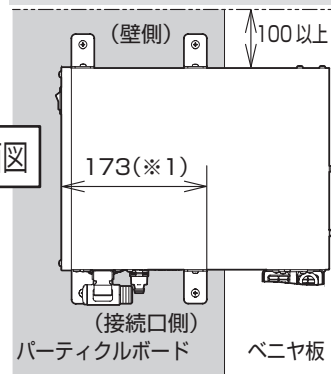
【RHE708施工例】（RESK12型への耐震用脚取付例）

電気温水器本体側面壁側に取付スペース（100mm 以上）がある場合

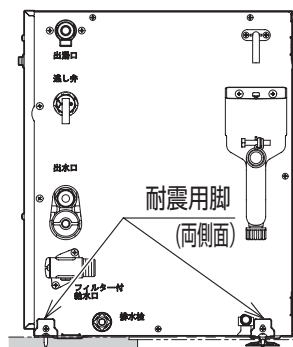
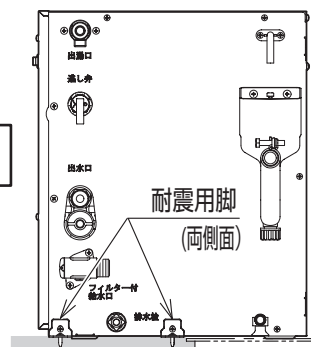
■パーティクルボードに4カ所固定した例（推奨）

■パーティクルボードに2カ所のみ固定した例

上面図



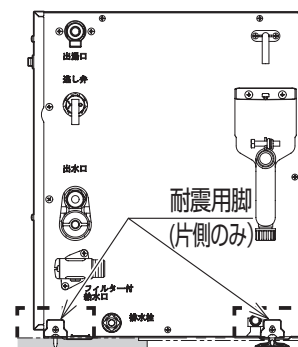
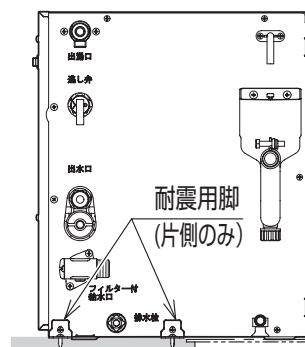
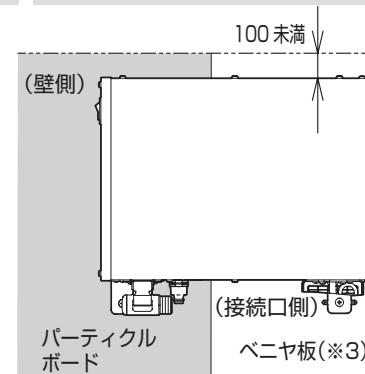
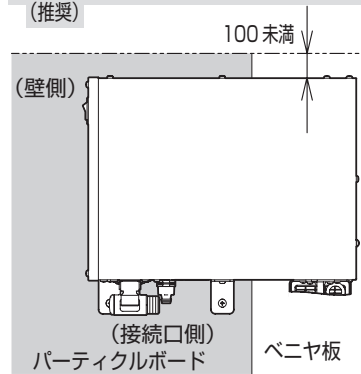
側面図



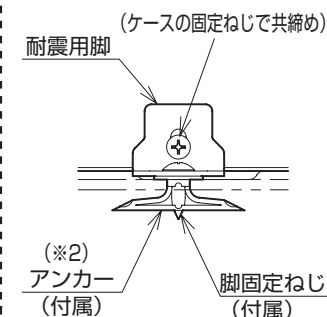
電気温水器本体側面壁側に取付スペースがない場合

■パーティクルボードに片側2カ所のみ固定した例（推奨）

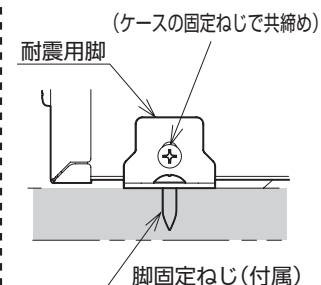
■パーティクルボードに片側1カ所のみ固定した例



■ベニヤ板への固定方法



■パーティクルボードへの固定方法



<RHE708を固定するときの注意点>

- ※1. パーティクルボードの奥行きが173mm以上のときは、パーティクルボード側に耐震用脚を固定してください。
電気温水器本体への耐震用脚の取付方法は、「4.施工手順」をご覧ください。
- ※2. 耐震用脚の前側は、必ず厚さが15mm以上のパーティクルボードまたは合板に固定してください。（不足する場合は、補強を行ってください。）
耐震用脚の後側をベニヤ板に固定する場合は、必ずアンカー（付属）を使用して床に固定してください。
- ※3. 体重計収納付き洗面化粧台は、ベニヤ板への固定はできません。（ベニヤ板の裏側にねじが飛び出るため）

4 施工手順

【RHE706施工手順】

1. 耐震用脚の取り付け

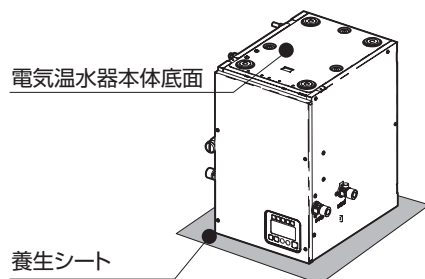
⚠ 注意



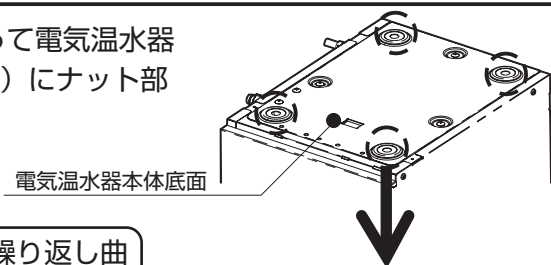
耐震用脚を取り付けるときは、電気温水器本体に強い力や衝撃を与えない故障や水漏れの原因になります。

■耐震用脚を取り付ける前に

耐震用脚を取り付ける前に養生シートを敷いてその上に電気温水器本体を逆さまにして置いてから作業を行ってください。

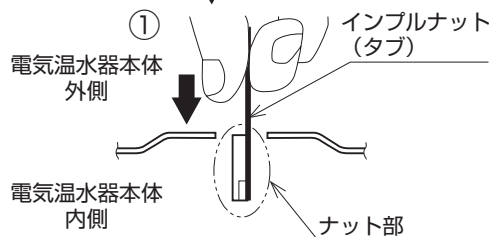


- ①インプルナットのタブを持って電気温水器本体底面の脚取付穴（4カ所）にナット部を挿入する。

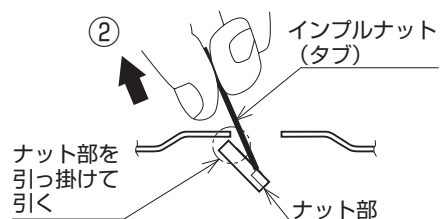


注意

インプルナットを繰り返し曲げないでください。タブが折れると取り付けできません。

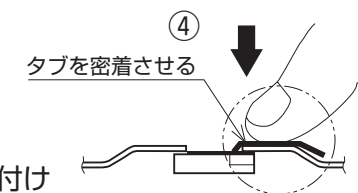
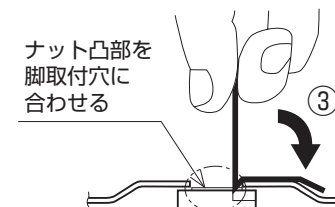
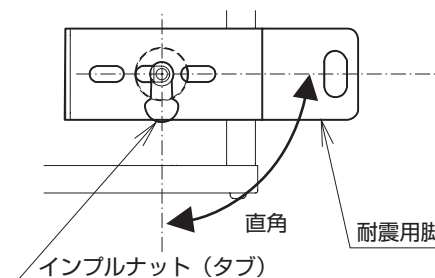


- ②挿入したナット部を脚取付穴内側に引っ掛けて引く。



- ③タブを引いたままナット凸部を脚取付穴に合わせて折り曲げる。

インプルナットのタブは、耐震用脚の取付方向に対して直角になるように折り曲げてください。

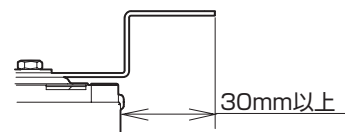


- ④タブの向きを確認してから指でタブを押し付けて密着させる。

- ⑤インプルナットのタブおよび耐震脚方向を確認し、脚取付ねじ（1本×4カ所）で耐震用脚を取り付ける。

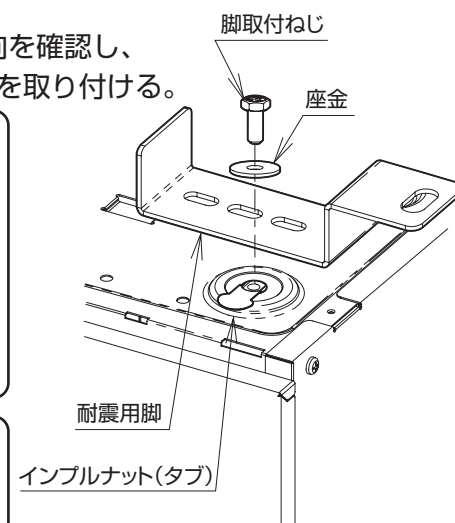
注意

耐震用脚が電気温水器本体から30mm以上出るように取り付けてください。



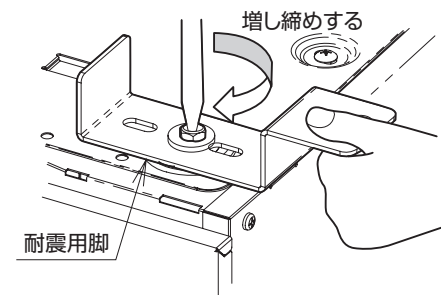
注意

インプルナットのタブが動かないように耐震脚をしっかり押えてねじ込んでください。



- ⑥耐震用脚を押し付けたまま工具で増し締めしてしっかり固定する。

- ⑦耐震用脚が上下左右に動かないことを確認する。



4 施工手順 (つづき)

【RHE706施工手順】 (つづき)

2. 床への固定

⚠ 警告



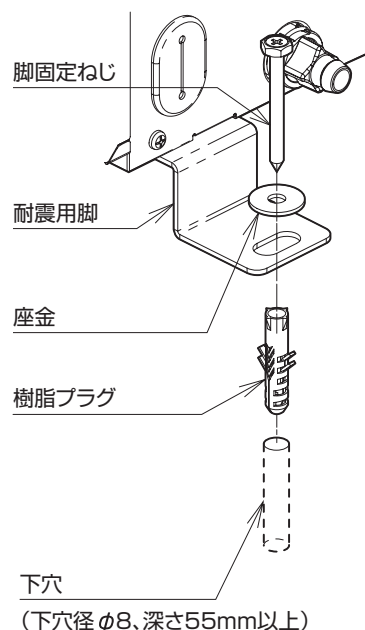
耐震用脚を取り付けた電気温水器本体は、十分な強度が確保された床材に指定した固定方法で設置する。強度が不十分な床および指定外の固定方法で固定すると耐震性能を満足できないおそれがあります。

① 4本の耐震用脚の固定位置をけがく。

② けがいた位置に下穴 (φ8) を開ける。

③ 樹脂プラグを下穴に挿入する。

④ 下穴の位置に合わせて電気温水器を設置して脚固定ねじで耐震用脚 (4カ所) を固定する。
(耐震用脚1カ所につき1本のねじで固定)



【RHE707施工手順】

1. 耐震用脚の取り付け

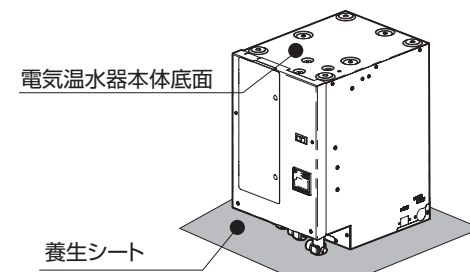
⚠ 注意



耐震用脚を取り付けるときは、電気温水器本体に強い力や衝撃を与えない。故障や水漏れの原因になります。

■耐震用脚を取り付ける前に

耐震用脚を取り付ける前に養生シートを敷いてその上に電気温水器本体を逆さまにして置いてから作業を行ってください。

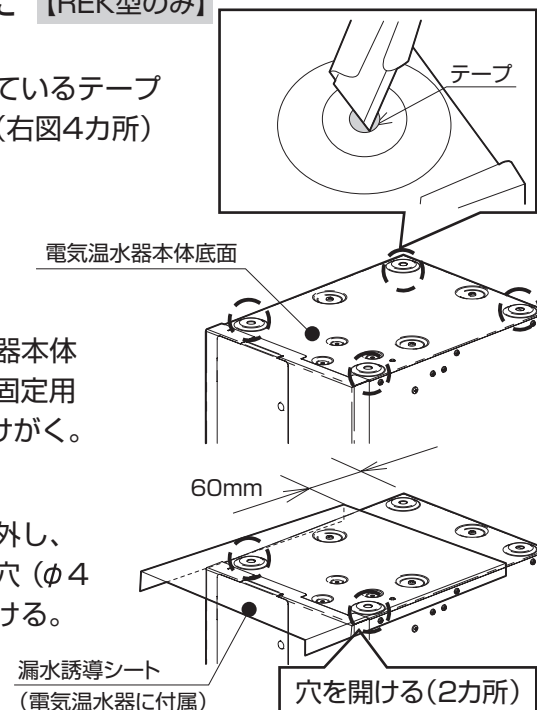


■耐震用脚を取り付ける前に 【REK型のみ】

1. 耐震用脚取付部に貼り付けているテープをカッターなどで開ける。(右図4カ所)

2. 漏水誘導シートを電気温水器本体底面に仮置きして耐震用脚固定用のねじを取り付ける位置をけがく。(2カ所)

3. 漏水誘導シートをいったん外し、けがいた位置にねじを通す穴 (φ4程度) をカッターなどで開ける。



4 施工手順 (つづき)

【RHE707施工手順】 (つづき)

①インプルナットのタブを持って電気温水器本体底面の脚取付穴(4カ所)に取り付ける。

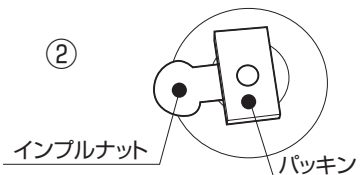
※インプルナットを取り付ける手順は、RHE706 と同じです。
詳細は、P.5①～④をご覧ください。

②同梱のパッキン(4枚)を密着させたインプルナットの上に貼り付ける。

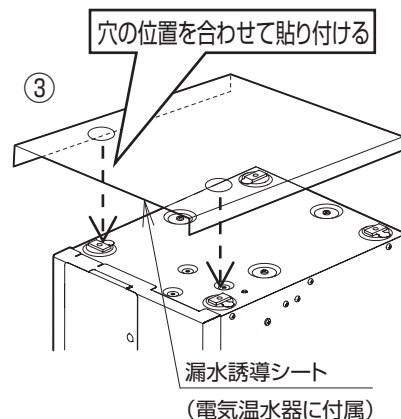
注意

インプルナットのねじ部が隠れないようにパッキン穴とインプルナットの穴を合わせて貼り付けてください。

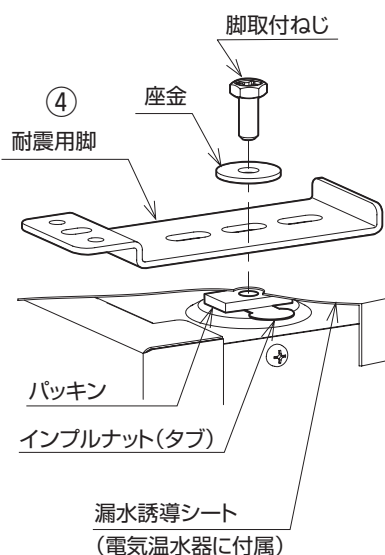
②



③

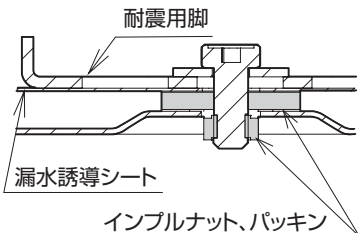


④



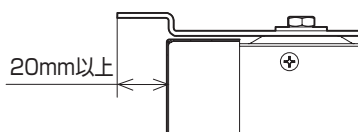
注意

インプルナットおよびパッキンが漏水シートの下側にあることを確認して耐震用脚を取り付けてください。(REK型前面側2カ所のみ)



注意

耐震用脚が電気温水器本体から20mm以上出るように取り付けてください。



⑤耐震用脚を押し付けたまま工具で増し締めして耐震用脚をしっかりと固定する。

⑥耐震用脚が上下左右に動かないことを確認する。

2. 床への固定

警告

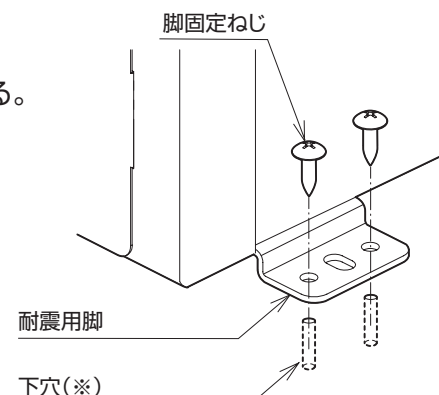


耐震用脚を取り付けた電気温水器本体は、十分な強度が確保された床材に指定した固定方法で設置する
強度が不十分な床および指定外の固定方法で固定すると耐震性能を満足できないおそれがあります。

①耐震用脚の固定位置をけがく。

②けがいた位置に下穴(φ2.5)を開ける。

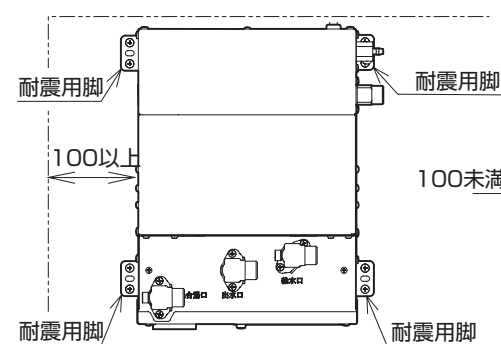
③下穴の位置に合わせて電気温水器を設置して脚固定ねじで耐震用脚を固定する。
(耐震用脚 1カ所につき2本のねじで固定)



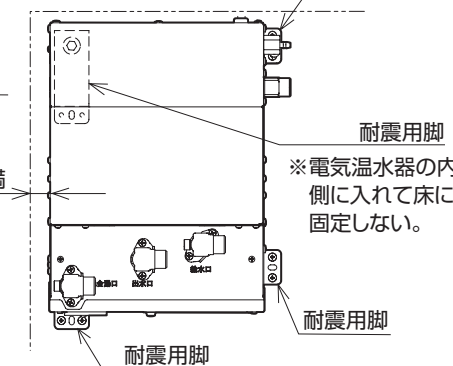
下穴径:2.5mm (ねじ径の2/3)
下穴深さ:10.5mm (ねじ長さの2/3)
※床材が樹脂の場合は、下穴を開けずに直接ねじを締め込んでください。

<RHE707耐震用脚固定例>

■ 4カ所固定例



■ 3カ所固定例



4 施工手順 (つづき)

【RHE708施工手順】

1. 耐震用脚の取り付け

⚠ 注意



耐震用脚を取り付けるときは、電気温水器本体に強い力や衝撃を与えない
故障や水漏れの原因になります。

- ①電気温水器本体側面(給水口側)下部の
ケース固定用ねじを取り外す。(2~4カ所)

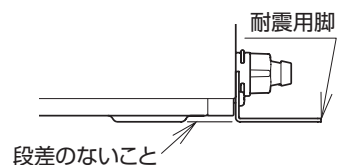
※耐震用脚を取り付ける位置に応じてケース
固定用ねじを取り外してください。

- ②取り外したケース固定用ねじで耐震用脚
と本体ケースを共締めする。

※RESK12型の場合は、同梱のねじφ4×8
を使用して漏水誘導シートおよび耐震用脚と
本体ケースを共締めする。

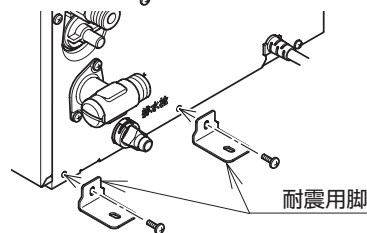
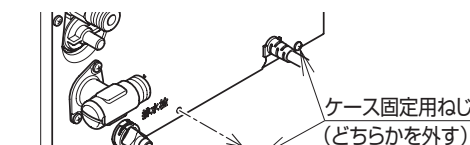
注意

電気温水器本体の底面と耐震
用脚に段差ができないように
取り付けてください。



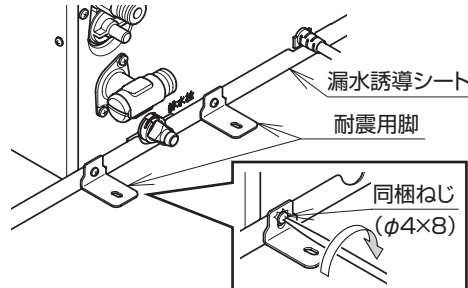
- ③耐震用脚を押し付けたまま工具で増し締
めて固定脚をしっかり固定する。

- ④耐震用脚が上下左右に動かないことを
確認する。



【RESK12型の場合】

同梱のねじで漏水誘導シートを破り、
ケースに固定する。



2. 床への固定

⚠ 警告



耐震用脚を取り付けた電気温水器本体は、十分な強度が確保
された床材に指定した固定方法で設置する
強度が不十分な床および指定外の固定方法で固定すると耐震性能
を満足できないおそれがあります。

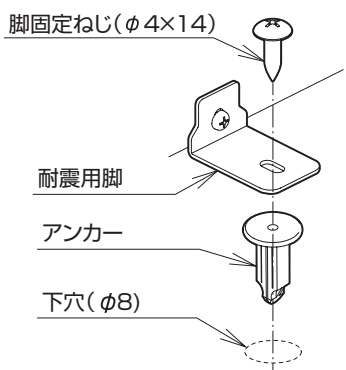
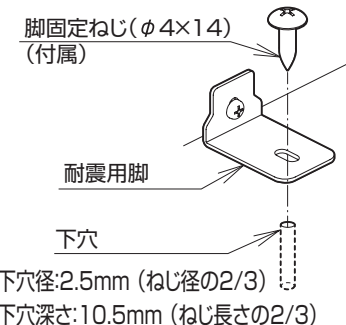
※TOTO 化粧台に設置する場合、補強の必要はありません。

■パーティクルボードに固定する場合

- ①耐震用脚の固定位置をけがく。
- ②けがいた位置に下穴(φ2.5)を開ける。
- ③下穴の位置に合わせて電気温水器を設置する。
- ④耐震用脚を脚固定ねじで床に固定する。
(固定脚1カ所につき1本のねじで固定)

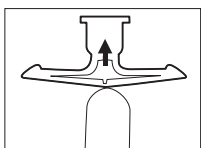
■ベニヤ板に固定する場合(※)

- ①耐震用脚の固定位置をけがく。
- ②けがいた位置に下穴(φ8)を開ける。
- ③下穴にアンカーを固定する。
※アンカーの取付要領は下図を参照ください。
- ④下穴の位置に合わせて電気温水器を設置する。
- ⑤耐震用脚を脚固定ねじで床に固定する。
(固定脚1カ所につき1本のねじで固定)
※体重計収納付き洗面化粧台は、ベニヤ板へ
の固定は、出来ません。
(ベニヤ板の裏側にねじが飛び出るため)

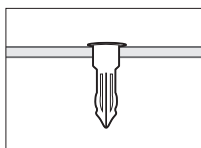


■アンカーの取付要領

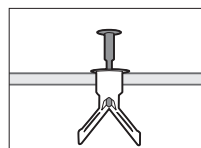
- ①アンカーの中心
を指で押える。



- ②アンカーを板
に挿入して板
と同一平面に
する。



- ③同梱のピンを挿
入し、板の裏側
にアンカーを開
かせる。



- ④耐震用脚を取り
付け、ねじで締
め付ける。

